



お祝いのことば

関西大学レスリング部

初代監督 村田 恒太郎

創部30周年記念おめでとうございます。

昭和23年4月戦後の荒廃の中から立ち上がった若人が、関西大学の庭に繰り広げた青春……それが今日の関大レスリング部の輝やかなしい一頁でありました。

それは戦後日本の復興の原動力であったと云っても過言ではないでしょう。あの創部当時の諸氏が50才になろうとしている現在の姿がそれを物語っているでしょう。

それぞれの地域社会での指導者として、日本人の中堅選手のレギュラーとして、その創部の頃のファイトと強靱な体力をもって社会の荒浪の中に挑戦し、格闘している姿は30年前のそれと少しも変わらない颯爽たるものを感じるのには私一人ではないでしょう。

今日ここに相会する諸氏の笑顔には30年はタイムトンネルの如くに、人々のよろこび、スポーツマンの感激が、関西大学の学歌と共に、オーバーラップしてくるのを感じます。

初代監督としての私の青春も関大レスリング部と共に歩ゆんできたと言う強い印象は、終生忘れるものではありません。

関西大学それは心の母校と云へるものです。

さまざまな思い出の中……今日の祝日を喜びあいながら、強く、逞しい関大魂の伝統を不滅のものとして50年、100年を迎える関大レスリング部の発展を心より祈念するものであります。

おめでとうございます。

(氏は明治大学OBで、現在明治大学レスリング部OB会会長であります。編集部註。)